



モノづくりからみた科学技術とその戦略 Science & Technology, and its Strategy

亀井 信一

Shinichi KAMEI

株式会社三菱総合研究所 政策・経済研究センター センター長
General Manager, Mitsubishi Research Institute, Inc.

日 時: 2015年11月19日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

わが国は、資源が乏しく、燃料、食料を輸入できなければ直ちに立ち行かなくなる不安定な先進国であるのにも関わらず、一方の輸出の基盤を担ってきた製造業の競争力が失われ、存在感が急速に希薄になりつつある。これを打ち砕くためには従来とは全く異なる発想の転換が必要である。これからのモノづくりは、サステイナブルで環境調和型のものが求められる。その期待が、自己組織化ナノテクノロジーなどに向けられている。究極のモノづくりとは、モノの持っている本質的な性質を最小のエネルギーで取出すことである。近年、出口志向が声高に叫ばれ、ともすると基礎研究が軽視されそうになるが、自然を愛でるという哲学に基づくモノづくりの実現は、産業的な期待のみならず、新しいサイエンスの世界をも切り拓くことが期待されている。これが今求められている科学技術とその戦略である。

